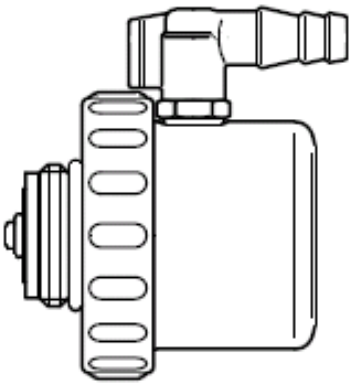
大陽日酸
The Gas Professionals

取　扱　説　明　書

グッドランセーバー

（呼吸同調式レギュレータ）

製造販売承認番号 21900BZX01266000



- **本品を使用する前に、必ず専用の酸素供給装置（グッドラン）の取扱説明書をよく読んで内容を十分理解した上で使用してください。**
- **使用する前に本取扱説明書をよく読んで内容を十分理解した上で使用してください。**
- 本取扱説明書に従わない不適切な操作や整備は、重大な人身事故につながる危険性がありますのでご注意ください。
- **本取扱説明書は、常に本品のそばに置いていつでも読めるようにしてください。**
- 本取扱説明書にてご不明な点ございましたら、取扱い販売店にご連絡ください。取扱い販売店が不明な場合は、製造販売元（裏表紙参照）までご連絡ください。

製造販売元 ： 大陽日酸株式会社

目次

1. はじめに	1
2. 安全にご使用していただくために	2
3. 製品の構成	6
4. 各部の名称とはたらき	6
5. 使用方法	7
(1)使用前準備	7
(2)酸素吸入開始時の操作	8
(3)酸素吸入終了時の操作	9
6. 使用環境・保管環境について	10
7. 保守点検について	11
8. 故障・異常の見分け方と処置方法	12
9. 廃棄について	14
10. 製品保証	14
11. 製品仕様	14
12. 適応法規	14
日常点検表	15

1. はじめに

本品は、酸素療法を必要とする患者を対象とし、酸素供給装置から供給される酸素ガスを患者が鼻カニューラを用いて吸入する際に、患者の呼吸の吸気時にのみ酸素ガスを吐出させて、酸素消費量を有効に使用することができるためのものです。

使用する前に本取扱説明書を必ずお読みください。本取扱説明書に従わない不適切な操作や整備は、重大な人身事故につながる危険性があります。以下に示す注意事項に従わないことにより生じた事故ならびに故障については、当社は一切の責任と保証を負いかねます。

本取扱説明書にてご不明な点ございましたら、取扱い販売店にご連絡ください。取扱い販売店が不明な場合は、製造販売元(裏表紙参照)までご連絡ください。

また、本取扱説明書では本品を安全にご使用いただくために、安全についての表示を次のように使い分けております。

ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載してありますので、必ず守ってください。安全注意事項ランクを「危険」「警告」「注意」と区別してあります。

⚠ **危険**	取扱いを誤った場合に、死亡、重傷又は重大な物的損害を招く差し迫った危険があるリスクを示しています。
⚠ **警告**	取扱いを誤った場合に、死亡、重傷又は重大な物的損害を招く可能性がある潜在的危険があるリスクを示しています。
⚠ **注意**	取扱いを誤った場合に、軽傷又は軽微な物的損害を招く可能性がある潜在的危険があるリスクを示しています。

＜図記号の意味＞具体的内容の近傍に示されています。

	してはいけない「禁止」内容を示します。
	必ず実行していただく「強制」の内容を示します。

＜医師の方が遵守していただく事項＞

① 本品は生命維持のために酸素吸入を必要とする患者への使用はしないでください。酸素の供給が途絶えると、容態が急変する患者には使用しないでください。

② 本品は自発的に鼻呼吸できる患者以外には使用しないでください[鼻が詰っていたり、口呼吸しかできない患者に使用すると酸素ガスが供給されないことがあります]。

③ 本品を使用するにあたって、必ず医師が酸素供給装置の処方流量を決定する際には、患者の労作時・安静時に使用し、患者の状態をモニタリングしてください。

2. 安全にご使用していただくために

⚠ 警告

・ 本品を用いる上で、人身事故や火災等の危険を減少させるための安全予防措置として以下(1)～(4)項の事項を遵守してください。

(1) ⃠ **火気厳禁**

酸素は燃えている物の火力を強くする支燃性の性質も持っています。本品を使用する際、火気(ストーブ、タバコ等)から 2m以内で使用しないでください。火災・火傷の原因となります。

(2) ⃠ **油脂類厳禁**

本品には潤滑油は不要ですので、油やグリスなどを使用しないでください。また、本品及び酸素ボンベに油やグリスの付着した手で触ったり、油やグリスが付着するようなことはしないでください。火災・火傷の原因となります。

(3) ⃠ **換気注意**

本品を使用する際、換気が十分でない場所で使用しないでください。火災・火傷の原因となります。

(4) ⃠ **使用場所の限定**

本品を MR 装置のある部屋(磁場発生場所)へは持込まないでください。事故や故障の原因となります。

⚠ 注意

・　本品を用いる上で、以下の(1)～(10)項の事項を遵守してください。

(1) ⃠ **指定外使用者の操作禁止**

医師から十分指導をうけた以外の方が手に触れたり、使用したりしないようにしてください。

(2) ⃠ **併用医療機器禁止**

①本品は専用の酸素供給装置(グッドラン)以外と併用して使用しないでください。

②本品は長さが 3m 以内のシングルルーメンの鼻カニューラ以外の酸素供給チューブ(ダブルルーメンカニューラ、酸素マスク)と併用して使用しないでください。

③本品は加湿器と併用して使用しないでください。

(3) ⃠ **使用状態の制限**

鼻詰まりなどで鼻呼吸できない時や息切れなどで口呼吸しかできない時や睡眠中には使用しないでください。酸素が供給されないことがあります。

(4) ⃠ **分解・改造厳禁**

本品を分解や改造や修理をしないでください。

(5) ⃠ **衝撃厳禁**

本品を取り付けた酸素ボンベは転倒等しないようにしてください。本品が落下等の強い衝撃を受けたときは、使用を中止し取扱い販売店にご連絡ください。

(6) ⃠ **損傷機器の使用禁止**

本品が磨耗(接続 O リング部等)、ひび割れ等損傷(ホースグチ部等)している場合、使用しないで取扱い販売店にご連絡ください。

(7) ⃠ **使用・保管環境**

①酸素ボンベの元栓を開けた状態で保管しないでください。長期間使用しない場合は、本品を酸素供給装置に取り付けた状態で保管しないでください。

②本品は、直射日光、高温、結露が生じるような環境、酸性ガス、塩分、ほこり、ゴミ、雨、水などをさけて使用・保管してください。故障の原因となります。特に本品を取り付けた酸素ボンベは 40℃以上となる場所では使用・保管しないでください(暖房器具直近・夏場の自動車内等)

③本品は、5℃未満の環境下で使用・保管しないください。

(8) ⃠ **表示ラベル不明器の使用禁止**

本品に貼付されたラベル(注意事項)が読めなくなったりした場合、使用しないで取扱い販売店にご連絡ください。

(9)使用上の注意

① 使用前に酸素ボンベの酸素ガス残量が十分であるか、酸素ボンベの残量計を確認してください。酸素ガス残量が赤ラインまで達している場合は酸素ガス残量が十分である新しい酸素ボンベに交換してください。

② 本品を酸素供給装置に取り付ける前に本品に接続 O リングがあることを確認し、本品と酸素供給装置の接合部(ネジ部・接続 O リング)に異物・汚れがある場合は取り除いてからご使用ください。また、油脂等の付着物がある場合は使用しないで取扱い販売店に連絡してください。

③ 本品を酸素供給装置に取り付ける際には、取付けグリップでしっかり取り付け、緩みがないようにしてください(取付け方向:時計方向)。緩みがあると酸素ガス漏れの原因となります。

④ 酸素ボンベに取り付けた本品を使用する場合、酸素ボンベに激しい振動を与えないようにしてください。

⑤ 本品を取り付けた酸素ボンベを持ち歩く時には、本品や酸素供給装置部に手をかけて持ち歩かず、酸素ボンベ部分を持つか指定のバックに入れてバック部分を持ち歩くようにしてください。

⑥ 酸素ボンベに取り付けた本品を使用する場合、酸素ボンベの姿勢は横倒しにしたり逆さにしたり斜めにした状態で使用しないようにしてください。

⑦ 使用前に酸素ボンベのボンベ元栓が全開状態であることを確認してください。

⑧ 患者は酸素供給装置の流量を医師の処方以外の設定にしないようにしてください。また、流量を設定する際は処方流量になっているか必ず流量目盛を確認してください。

⑨ カニューラの取付け部はホースグチの奥まで確実に差し込んでください。また、カニューラのねじれ、折り曲げ、亀裂、結露等がないようにしてください。

⑩ 酸素吸入中に酸素ガスが出ない等異常を感じた場合は、使用を中止し取扱い販売店へ連絡してください。

⑪ 使用を止める時には、酸素ボンベのボンベ元栓が開いた状態で保管しないでください。長期間使用しない場合は、本品を酸素供給装置に取り付けたままにはしないでください。

⑫ 酸素ボンベのボンベ元栓を開けた状態では、本品を酸素供給装置から取り外さないでください(取外し方向:反時計方向)。急激に酸素ガスが漏れる原因となります。

⑬ 本品を取り外した酸素ボンベの酸素供給装置はホースグチユニットを外した状態で放置しないでください。異物の混入の原因となります。

(10) **点検に関する注意**

① 本品は安全及び精度維持のために点検を必ず行ってください。点検を怠りますと、正常な機能を維持できなくなり、故障の原因となります。

② 長期間使用しなかった場合は、必ず使用前に必ず正常かつ安全に作動することを確認してください。

③ 本品の使用前の漏れ検査において石鹸水等の液体を使用しないでください。

④ 本品を消毒液や水などの液体には浸して洗浄しないでください。

⑤ 本品をクリーニングする際にはアルコールやベンゼン系の有機溶剤や油性物質を使用しないでください。クリーングが必要な場合には、ぬるま湯に布を浸し、軽くしぼり、本品の外面をきれになるまで洗浄してください。

⑥ 本品をオートクレーブ滅菌（高圧蒸気滅菌）や酸化エチレンで滅菌しないで下さい。

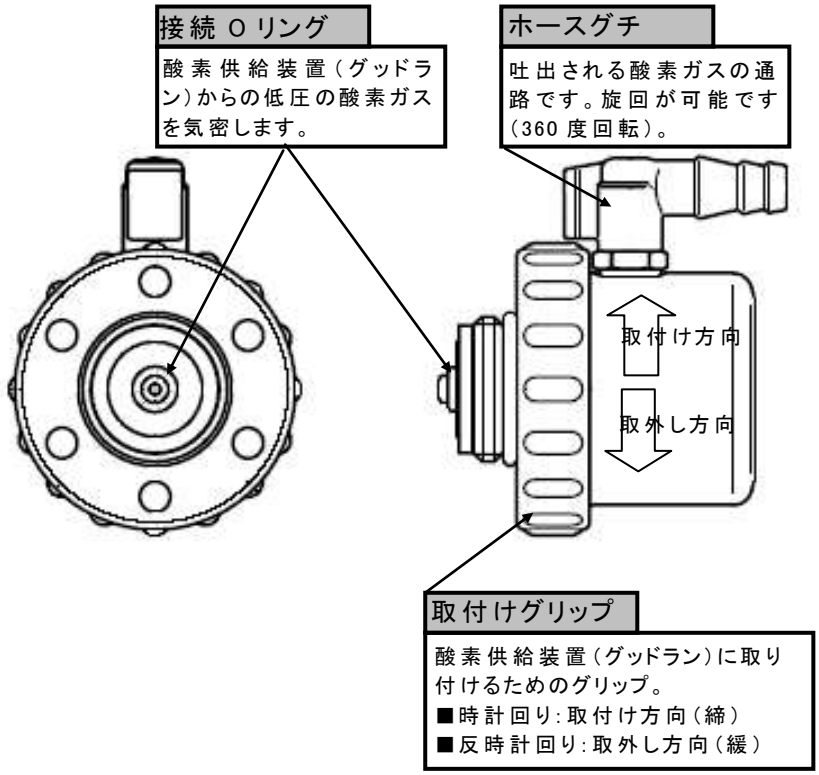
3. 製品の構成

梱包箱の中には下記の物が入っていますので確認してください。

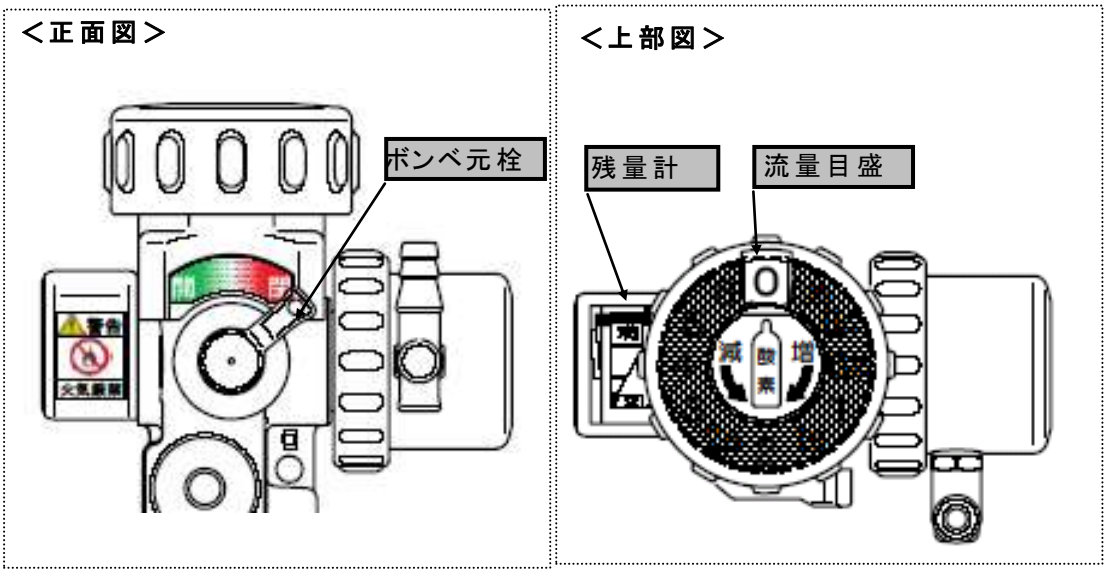
グッドランセーバー	1 式
取扱説明書	1 部
添付文書	1 部

4. 各部の名称とはたらき

(1)グッドランセーバー本体図



(2) グッドランセーバーを専用の酸素供給装置(グッドラン)に取り付けた図



5. 使用方法

(1)使用前準備

⚠ 警告

- 酸素は燃えている物の火力を強くする支燃性の性質も持っています。本品を使用する際、火気(ストーブ、タバコ等)から 2m以内で使用しないでください。火災・火傷の原因となります。
- 本品を使用する際、換気が十分でない場所で使用しないでください。火災・火傷の原因となります。

⚠ 注意

- 鼻詰まりなどで鼻呼吸できない時や息切れなどで口呼吸しかできない時や睡眠中には使用しないでください。酸素が供給されないことがあります。
- 本品が磨耗(接続Oリング部等)、ひび割れ等損傷(ホースグチ部等)している場合、使用しないで取扱い販売店にご連絡ください。
- 使用前には酸素ボンベのガス残量が十分であることを確認してください。ガス残量が赤ラインまで達している場合はガス残量が十分である新しい酸素ボンベに交換してください。
- 本品を酸素供給装置に取り付ける前に本品に接続 O リングがあることを確認し、本品と酸素供給装置の接合部(ネジ部・接続 O リング)に異物・汚れがある場合は取り除いてからご使用ください。また、油脂等の付着物がある場合は使用しないで取扱い販売店に連絡してください。
- 本品を酸素供給装置に取り付ける際には、取付けグリップでしっかり取り付け、緩みがないようにしてください(取付け方向:時計方向)。緩みがあると酸素ガス漏れの原因となります。
- 本品を取り付けた酸素ボンベは転倒等しないようにしてください。本品が落下等の強い衝撃を受けたときは、使用を中止し取扱い販売店にご連絡ください。

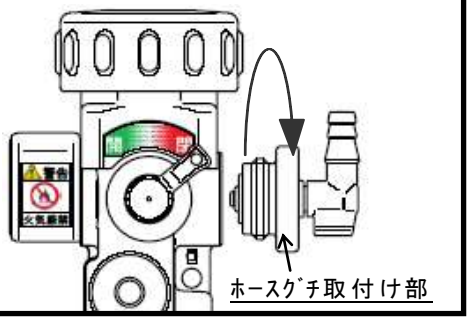
＜手順①＞

酸素ボンベに取り付けられた酸素供給装置(グッドラン)のホースグチユニットのホースグチ取付け部を反時計まわりに回して取り外してください。取り外したホースグチユニットは本品のそばに置いて(ボンベバックに入れて)、本品の故障時等に取り付けて使用できるようにしておいてください(P.9　5(3)参照)

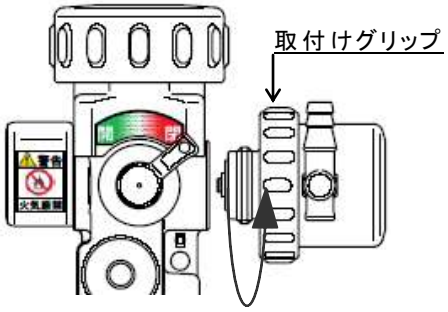
＜手順②＞

本品に接続Oリングがあることを確認し取付けグリップを時計回りに回して、本品を酸素供給装置(グッドラン)にしっかりと取り付けてください。

＜手順①図(ﾎｰｽｸﾞﾁ取外し)＞



＜手順②図(本品取付け)＞



(2)酸素吸入開始時の操作

⚠ 注意

- 酸素ボンベに取り付けた本品を使用する場合、酸素ボンベの姿勢は横倒しにしたり逆さにしたり斜めにした状態で使用しないようにしてください。
- 患者は酸素供給装置の流量を医師の処方以外の設定にしないようにしてください。また、流量を設定する際は処方流量になっているか必ず流量目盛を確認してください。
- カニューラの取付け部はホースグチの奥まで確実に差し込んでください。また、カニューラのねじれ、折り曲げ、亀裂、結露等がないようにしてください。
- 酸素吸入中に酸素ガスが出ない等異常を感じた場合は、使用を中止し取扱い販売店へ連絡してください。

＜手順①＞

酸素供給装置(グッドラン)の流量目盛が「0」であることを確認して、酸素ボンベのボンベ元栓を手でできるだけゆっくり「開」方向(反時計回り)に回して、「カチッ」というまで全開にあけてください。

＜手順②＞

医師の処方流量に従って酸素供給装置(グッドラン)の流量を設定してください。

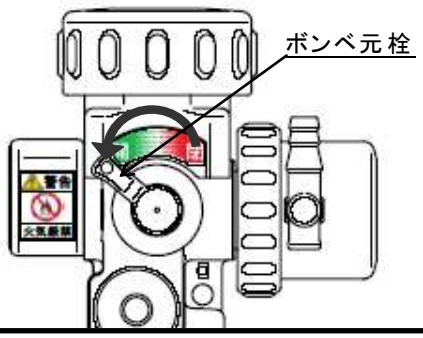
＜手順③＞

酸素ガス漏れがないか音「シュー」により漏れを確認してください。また、本品のホースグチより酸素ガスが出ていないか確認してください。酸素供給装置と本品の接続部より酸素ガス漏れをしている場合は、酸素ボンベのボンベ元栓を閉じ、再度しっかりと酸素供給装置に取り付けしてください。それでも酸素ガス漏れが生じる場合は、使用を中止し取扱い販売店に連絡してください。

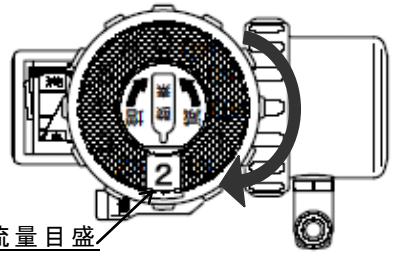
＜手順④＞

本品のホースグチに鼻カニューラを取り付けて、鼻に正しく装着し、吸入を開始してください。この時、酸素ガスに異臭がある場合は使用を中止し、販売店に連絡してください。

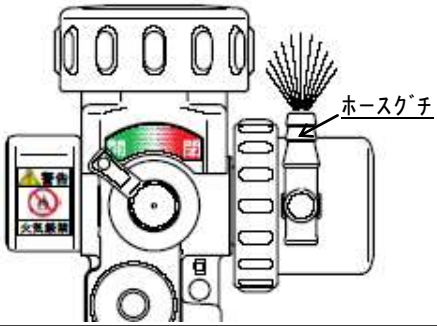
＜手順①図＞



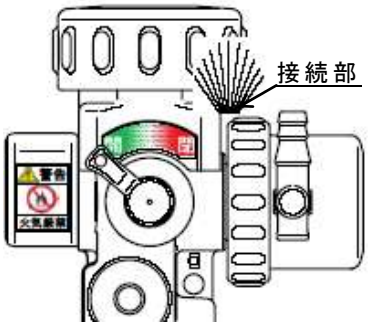
＜手順②図＞
例】流量目盛 2



＜手順③図(ﾎｰｽｸﾞﾁからｶﾞｽ漏れ)＞



＜手順③図(接続部から漏れ)＞



(3)酸素吸入終了時の操作

⚠ 注意

- 使用を止める時には、元栓を開けた状態で保管しないでください。長期間使用しない場合は、本品を酸素供給装置に取り付けた状態で保管しないでください。
- 酸素ボンベのボンベ元栓を開けた状態では、本品を酸素供給装置から取り外さないでください(取外し方向:反時計方向)。急激に酸素ガスが漏れる原因となります。
- 本品を取り外した酸素ボンベの酸素供給装置はホースグチユニットを外した状態で放置しないでください。異物の混入の原因となります。

＜手順①＞

酸素ボンベのボンベ元栓を「閉」方向(時計回り)に回して閉じて、本品の内部の酸素ガスを吸入し、酸素ガスがでなくなったことを確認してください。

＜手順②＞

酸素供給装置(グッドラン)の流量目盛を「0」に合わせてください。

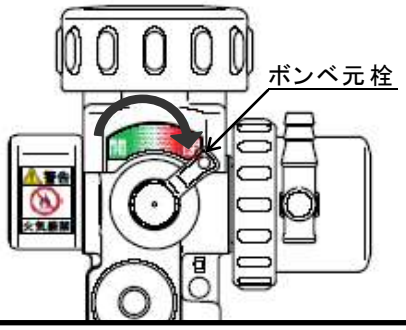
＜手順③ 酸素ボンベ交換＞

酸素ボンベの酸素ガス残量が空になった場合は、本品を酸素供給装置(グッドラン)から取り外して、酸素ガス残量が十分な酸素ボンベに再度取り付けてください(P.7 5(1)参照)。酸素ボンベの酸素供給装置にはホースグチユニットを取り付けて販売店へご返却ください。

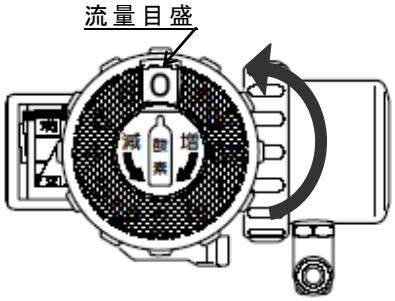
※長期使用しない場合

上記①～②の手順を実施し、本品を酸素供給装置(グッドラン)から取り外して清潔に保管してください。酸素ボンベの酸素供給装置にはホースグチユニットを取り付けて保管してください。

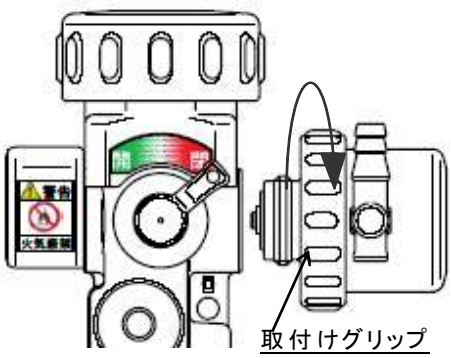
＜手順①図＞



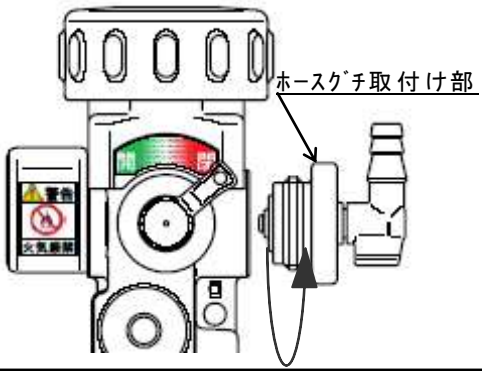
＜手順②図＞



＜手順③図(本品取外し)＞



＜手順③図(ホースグチユニット取付け)＞



6. 使用環境・保管環境について

⚠ 警告

- 酸素は燃えている物の火力を強くする支燃性の性質も持っています。本品を使用する際、火気（ストーブ、タバコ等）から 2m以内で使用しないでください。火災・火傷の原因となります。
- 本品を使用する際、換気が十分でない場所で使用しないでください。火災・火傷の原因となります。
- 本品をMR装置のある部屋（磁場発生場所）へは持込まないでください。事故や故障の原因となります。

⚠ 注意

- 酸素ボンベのボンベ元栓開けた状態で保管しないでください。長期間使用しない場合は、本品を酸素供給装置に取り付けた状態で保管しないでください。
- 本品を取り外した酸素ボンベの酸素供給装置はホースグチユニットを外した状態で放置しないでください。異物の混入の原因となります。
- 本品は、直射日光、高温、結露が生じるような環境、酸性ガス、塩分、ほこり、ゴミ、雨、水などをさけて使用・保管してください。故障の原因となります。特に本品を取り付けた酸素ボンベは 40℃以上となる場所では使用・保管しないでください（暖房器具直近・夏場の自動車内等）。
- 本品は、5℃未満の環境下で使用・保管しないください。

7. 保守点検について

⚠ 警告

⃠ 本品には潤滑油は不要ですので、油やグリスなどを使用しないでください。また、本品及び酸素ボンベに油やグリスの付着した手で触ったり、油やグリスが付着するようなことはしないでください。火災・火傷の原因となります。

⚠ 注意

⃠ 本品を分解や改造や修理をしないでください。

⃠ 本品が磨耗(接続Oリング部等)、ひび割れ等損傷(ホースグチ部等)している場合、使用しないで取扱い販売店にご連絡ください。

❗ 本品は安全及び精度維持のために点検を必ず行ってください。点検を怠りますと、正常な機能を維持できなくなり、故障の原因となります。

❗ 長期間使用しなかった場合は、必ず使用前に必ず正常かつ安全に作動することを確認してください。

⃠ 本品の使用前の漏れ検査において石鹸水等の液体を使用しないでください。

⃠ 本品を消毒液や水などの液体には浸して洗浄しないでください。

⃠ 本品をクリーニングする際にはアルコールやベンゼン系の有機溶剤や油性物質を使用しないでください。クリーングが必要な場合には、ぬるま湯に布を浸し、軽くしぼり、本品の外面をきれになるまで洗浄してください。

⃠ 本品をオートクレーブ滅菌(高圧蒸気滅菌)や酸化エチレンで滅菌しないでください。

(1) 日常点検

本品は P.15 ページに添付の点検表により必ず使用前・使用後に点検を行ってください。

※本品は性能、安全性確保のために、3ヶ月に1回毎の定期点検及び3年に1回毎の定期メンテナンスを行う必要があります。取扱い販売店にご連絡ください。

8. 故障・異常の見分け方と処置方法

⚠ 注意

- 本品が磨耗(接続Oリング部等)、ひび割れ等損傷(ホースグチ部等)している場合、使用しないで取扱い販売店にご連絡ください。事故や故障の原因となります。
- 本品を分解や改造等しないでください。事故や故障の原因となります。
- 酸素吸入中に酸素ガスが出ない等異常を感じた場合は、使用を中止し取扱い販売店へ連絡してください。
- 酸素ボンベのボンベ元栓を開けた状態では、本品を酸素供給装置から取り外さないでください(取外し方向:反時計方向)。急激に酸素ガスが漏れる原因となります。

(1)故障?と思われた場合。

本品より以下の現象を確認した場合には、以下表を参考に対応してください。

故障状況	確認	処置
①酸素ガスが出ない。または酸素ガスの出が少ない。	酸素ボンベの酸素ガス残量が赤ラインまで達していませんか?	酸素ガス残量が十分である新しい酸素ボンベと交換してください。
	酸素ボンベのボンベ元栓が「閉」になっていませんか?	ボンベ元栓をゆっくり「開」方向(反時計回り)に回して、「カチッ」というまで全開に開けてください。
	酸素供給装置の流量目盛が「0」になっていませんか?	流量ツマミを回し処方流量に合わせてください。
	酸素供給装置の流量目盛が中間位置になっていませんか?	流量ツマミを「カチッ」と音がするまで回し適切に流量目盛を設定してください。
	カニューラが正常に接続されていますか?	カニューラをホースグチにしっかりと差し込んでください。
	カニューラにねじれ、折り曲げ、亀裂、結露がありませんか?	カニューラのねじれ折り曲げをなくしてください。亀裂している場合は新品と交換してください。
	カニューラのチューブが 3m以上ありませんか?	3m 以内のカニューラをご使用ください。
	取付けグリップ部が緩んでいませんか?	取付けグリップを手で時計回りに回して増し締めしてください。

故障状況	確認	処置
②呼吸に合わせて酸素が出ない。	カニューラが正常に接続されていますか？	カニューラをホースグチにしっかりと差し込んでください。
	カニューラにねじれ、折り曲げ、亀裂、結露がありませんか？	カニューラのねじれ折り曲げをなくしてください。亀裂している場合は新品と交換してください。
	カニューラのチューブが 3m以上ありませんか？	3m 以内のカニューラをご使用ください。
	口呼吸をしていませんか？	鼻呼吸するようにしてください。
	本品を取り付けた酸素ボンベを倒したり、傾けたりしていませんか？	酸素ボンベの姿勢を正しい姿勢（垂直）にしてください。
	保管温度・使用温度が 5℃未満でありませんか？	保管温度・使用温度を 5℃以上に保ってください。
③「シュー」というガス漏れ音がする。	取付けグリップ部が緩んでいませんか？	取付けグリップ部を手で時計回りに回して増し締めしてください。
	酸素供給装置との接合部に異物・汚れがありませんか？	異物・汚れがある場合は取り除いてから、再度緩みがないようにしっかりと取り付けてください。
	接続 O リングがなかったり、磨耗していませんか？	使用を中止して（ボンベ元栓を閉じて）、取扱い販売店へご連絡してください。
④酸素ボンベの持ち時間が短い。	ガス漏れしていませんか？	上記③の漏れ確認を実施願います。

上記の処置を実施しても故障状況が改善されない場合は、取扱い販売店へ連絡し、本品を酸素供給装置から取り外し、ホースグチユニットを取り付けてご使用願います。（P.9 5(3)参照）

(2)上記の故障以外で故障と思われる場合。

使用を中止して、取扱い販売店へ連絡してください。取扱い販売店が不明な場合は製造販売元（裏表紙参照）へ連絡してください。

9. 廃棄について

本品を廃棄するときは医療用廃棄物として処理する必要がありますので、取扱い販売店にご連絡ください。

10. 製品保証

(1)保証範囲

保証期間内に、当社納入品に当社の責任による故障を生じた場合には、無償修理を行います。

(2)保証期間

本品の保証期間は、当社出荷後 1 年間とします。

(3)保証対象外

下記のいずれかに該当する場合には、保証の対象外とさせて頂きます。

① 天災、火災、水害等不可効力により生じた故障。
② 本書の「危険」「警告」「注意」に示す事項を守らなかったことによる故障。
③ 当社もしくは、当社が委嘱した者以外が改造、分解、修理した製品の故障。
④ 外部より異物が混入したことにより発生した故障。
⑤ その他当社の責任外と判断される故障。

11. 製品仕様

製品名	グッドランセーバー
使用ガス	酸素ガス
使用・保管温度	5～40℃
入口圧力	0.15MPa(基準値)

12. 適応法規

薬事法
医療機器製造販売承認番号:21900BZX01266000
類別:機械器具 6 呼吸補助器、クラス分類:管理医療機器
一般的名称:呼吸同調式レギュレータ
特定保守管理医療機器:非該当

― グッドランセーバー日常点検表 ―			
製造番号			
検査目的	日常点検	検査期日	年　月　日

項目	詳細内容	判定
(1)周囲環境	本品と専用酸素供給装置の取扱説明書および取り外したホースグチユニットを備えていますか？	□OK □NG
	火気から2m以上離れていますか？	□OK □NG
	換気が十分ですか？	□OK □NG
	保管・使用温度が5～40℃の範囲内ですか？	□OK □NG
	ほこりや結露が生じるような環境でないですか？	□OK □NG
(2)酸素ボンベ	酸素ボンベが転倒しないようにしていますか？	□OK □NG
	酸素ボンベに直射日光があたっていませんか？	□OK □NG
	酸素ボンベの酸素ガス残量が十分ですか？	□OK □NG
(3)使用前	本品と専用酸素供給装置が磨耗（接続 O リング部等）・ひび割れ等の損傷（ホースグチ部等）をうけていませんか？	□OK □NG
	本品の接合部（ネジ部・接続 O リング）に異物・汚れがありませんか？また、油脂等の付着物がありませんか？	□OK □NG
	本品を取付けグリップでしっかりと専用酸素供給装置に取り付けましたか？	□OK □NG
	酸素ボンベのボンベ元栓をゆっくりと開けるよう心がけていますか？	□OK □NG
	酸素ボンベのボンベ元栓はスムーズに動きますか？	□OK □NG
	「シュー」というガス漏れ音はしませんか？	□OK □NG
	酸素供給装置の流量ツマミを回す時にスムーズに回転しますか？	□OK □NG
	酸素ガスに異臭はありませんか？	□OK □NG
(4)使用開始後	カニューラをホースグチに確実に差し込みましたか？	□OK □NG
	カニューラのねじれ、折り曲げ、亀裂、結露等はありませんか？	□OK □NG
	医師の処方に合った流量に設定していますか？ （酸素供給装置の流量目盛の中間位置に設定されていませんか？）	□OK □NG
	呼吸に合わせて酸素ガスがでていますか？	□OK □NG
(5)使用終了後	酸素ボンベの元栓を閉じて、本品内の酸素ガスを抜いて流量目盛を「0」にあわせましたか？	□OK □NG
	保管は正しくされていますか？	□OK □NG
総合判定	□OK	
	□NG　※上記判定においてNGがあり、P12・13の処置を実施しても対応できない場合取扱い販売店へご連絡ください。	

※本品の日常点検は、専用の酸素供給装置（グッドラン）に取り付けた状態で実施するため、別途グッドランの日常点検を実施する必要はありません。

＜取扱い販売店＞

製造販売元

大陽日酸株式会社

バイオ・メディカル事業部　ホームケア営業部
本　社　　東京都品川区小山 1-3-26
〒142-8558
TEL 03(5788)8340　FAX 03(5788)8710
ttp://www.tn-sanso.co.jp

北海道支店	TEL.011(737)5752	中部支社	TEL.052(629)0601
東 北 支 社	TEL.022(365)0928	関西支社	TEL.06(6449)7000
北関東支社	TEL.048(646)0061	中四国支	TEL.082(263)6111
関 東 支 社	TEL.044(549)9300	九州支社	TEL.092(482)0681

2009 年 4 月 1 日改訂

MHM-003R(01)